

# せんだん

下川口小学校

令和5年11月24日(金) 16号

教育目標

『かしこく ゆたかに たくましく』

## 【人権参観日】

11月11日(土)は年に1度の人権参観日でした。イベント等の多いこの時期ですが、保護者以外に9名の方が来てくれていました。有り難いことです。

「いのちの授業」と題した講演会は、赤ちゃんの人形を抱っこさせてもらうことから始まりました。生まれたばかりの赤ちゃんの平均体重はおよそ3,000g。子ども達は思ったより重い赤ちゃんの人形を抱っこしてその重さに驚いていました。また、聴診器で自分の心臓の音も聞かせてもらいました。

低学年には難しい内容もありましたが、さすが高学年はしっかり話がきけています。次のような作文を書িয়েくれました。

いのちの授業

六年

今日は、藤田晶子さんの「命の授業」がありました。その中で心に残った言葉が二つあります。一つ目は、「いつもご先祖様が応えんしてくれている」という言葉です。藤田さんは、「言葉にはしていないけど、いつもがんばれ、がんばれ、と応えんしてくれています。」と言っていました。「いのちの歌」の『本当に大切なものは、かくれて見えない』という歌詞のように、ご先祖様のエールは、見えないけど大切なんじゃないかなと思いました。

そして二つ目は、「自分の体をさすってほめてあげる」という言葉です。そして自分に

「今日もありがとうと言ってあげましょう。」と、藤田さんは言っていました。

藤田さんのお話では、自分達は低い確率で生まれたことを知りました。そして、藤田さんは、「自分の命は自分だけのものではない。だから自分の命を大切にしなければならぬ。」

と言っていました。その言葉を聞き、戦争は人の殺し合いだから絶対にダメだと改めて確信しました

この藤田さんのお話を聞いて、自分たちは低い確率で生まれているから、自分を大切にしたいなと思

ったし、命の大切さについて考える事ができました。

また、こういう機会があれば、藤田さんのお話も

思い出しながら学習したいなと思いました。

藤田 晶子さん

社会福祉法人ゆめのき

リトル・フレンド



人権参観日

六年

今日は人権参観日がありました。今日は助産師さんの話を聞きました。

最初、保護者の人がみんな集まるまで時間がありませんでした。その時、

「赤ちゃんだっこしてみませんか。」

と聞かれ、一人ずつだっこしてみました。人形の赤ちゃんだから軽そうやなと思いました。自分の番が

来ました。赤ちゃんの足と足の間にうでを入れて、首をうでで支えてだっこしました。すると、軽いと思

ったら重かったです。実際の赤ちゃんの重さでした。めつたに赤ちゃんをだっこすることがないので、

貴重な体験ができてうれしかったです。助産師さんは、

「へその緒(お)は、あかちゃんとお母さんをつなぐ大切なものです。」

と教えてくれました。私は、へその緒のことについて勉強していたので、話に納得しました。他にも、

「男性の精子と女性の卵子が結びつくのはとても確率が低いんです。」

と聞いて、よく分かりました。このことも勉強していたので分かったけど、改めて聞いてもつとよく分かりました。

今日の勉強、人権参観日の助産師さんの話で一番印象に残ったのは先祖の話です。私は、パパとママ

がいなかったら生まれてきませんでした。ママもパパも、お母さんとお父さんがいないと生まれてきて

いませんでした。今の自分は、ご先祖様のおかげで

いると知れました。本当にありがとうございました。

## 【人権アンケート】

人権参観日に合わせてアンケートもお願いしていました。「あなたが関心のある（特に大切だと思う）人権課題について3つ選んでください。」というものでしたが、結果は・・・

- 🗳️第1位 インターネットによる人権侵害（8票）
- 🗳️第2位 子ども（7票）
- 🗳️第3位 障害者 LGBTQ（性に関すること）（4票）

-----となりました。



人権課題はどれも大切なのはもちろんですが、現代社会で身近な問題と思われるものが上位にきていました。特に1位のインターネットによる人権侵害は、不特定多数の人が閲覧したりコメントしたりできるものがありますし、匿名での投稿で内容が過激になっていくこともあります。ある有名人が誹謗中傷により自殺したというニュースもありましたね。

今の子ども達は、今後ますますインターネット等を通じて知らない人とつながっていくことでしょう。それは素晴らしいことでもある反面、怖さも伴います。上手な付き合い方をしていかなければいけませんね。学校でも指導していきます。

さて、人権参観日の感想もお願いしていたところ、たくさん書いてくださっていました。無記名でしたので、どなたのものか分かりませんが抜粋して紹介させていただきます。

- ◆最初に懐かしく赤ちゃんの人形を抱っこさせてもらって、我が子が生まれた時、こんなだったかなあと思い出しました。子ども達にも一つの命が誕生するのは奇跡なんだと分かってもらえて良かったです。自分の命、周りの人の命も大切にしてほしいです。私自身も改めて命について考える時間になりました。ありがとうございました。
- ◆子ども達が、自分が生まれてきた“奇跡”を理解し、「お母さんに感謝したい」「命を大切にしたい」と話してくれました。自分（の命）を大切にすることができて初めて他人（自分以外のあらゆる人の命）を大切にすることができると思っています。そして“自分と同じように相手を大切にする”ということさえ理解できれば、性別や障害の有無、病気等々、自分（の属する集団）と違っていても大切にできるはず・・・。そういう意味で「命の授業」で命の尊さを学び自分を大切にすることを理解できたことは素晴らしい人権教育になったのではないかと思います。
- ◆今、自分が生きていることの素晴らしさに子ども達も気づけたようです。周りの人はもちろん、自分自身のことを大切にできる子でいてほしいと思いました。いのちのお話を聞いた後の歌声からは、一人一人がいのちを大切にという想いをしっかり持っていることが感じられ、とても素晴らしかったです。
- ◆生命の誕生について家庭で話すことはあまりないですが、動物を飼っているので、動物が死んだ時に命のありがたさを話します。もう二度と戻ってこれない事も話します。自分の命、みんなの命も、この世に一つしかない事を改めて考えさせられました。とても大変な仕事（助産師さん）、とても素敵な仕事で、一度経験したい仕事です。とてもよい人権参観日でした。子ども達の歌、すごく良くて涙が出ました。
- ◆命の大切さを家庭でも良く話したりしていますが、藤田先生が自分を抱きしめ「よくがんばったね～」などと言いながらほめてあげること、いやしてあげることなどを子どもに話してくれた時に、本当に自分が何より大切にしていけないのは自分自身であり、自分を大切にしていればこそ相手を思いやり大切にしていられることだと改めて感じさせられました。いいお話が聞けて本当に良かったです。ありがとうございました。
- ◆今日は良い話だったと思います。出産した時の事を思い出しました。お腹にいる時の記憶がある人がいる事にもびっくりしました。次に話を聞く事があったら双子の時のお腹の様子なども聞きたいと思いました。
- ◆最近では自殺が多いですね。インターネットなどの人権侵害で悪口などあげて色々問題がありますよね。便利になったこの時代。いいこともありますが悪くもあります。インターネットの世の中も便利かもしれませんが、それもどうかと思いますね。
- ◆私も子どもへの性教育がとても大切とっていて、今回の藤田さんのお話はとても分かりやすく感動しました。自分をほめるところは、毎回ギューってすること、いいなと思いました。子どもが親を選んで生まれてきてくれていると言っていました。子どもに親にしてもらってとても有難いです。ありがとうございます！最後の子ども達の歌には感動しました。毎回家事をしながら命の動画を流して元気もらっています。藤田さんに出会えてよかったです。ありがとうございました。

素敵な感想をありがとうございました。このような感想をいただけて企画した側としても嬉しい気持ちでいっぱいです。

